



バイパス周辺に新たな物流拠点を創出

過去 before

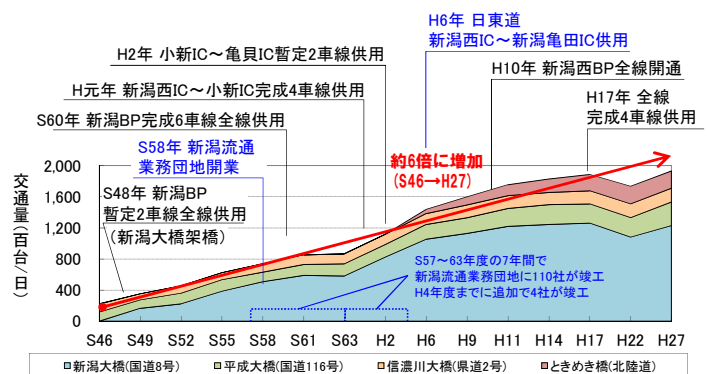
現在 after

新潟西IC周辺の開発状況



信濃川断面交通量の推移

バイパス延伸や周辺開発により、交通量が約6倍に増加



〈立地企業の声〉

- ・従業員は、西区だけでなく、北区や東区、新発田市、三条市、五泉市など、広い範囲から通勤している者もいる。新発田方面の通勤は、バイパスを利用しており、非常に重宝している。
- ・交通事故でバイパスが止ることもあるが、下道で来るよりも速いため、有り難いと感じているのではないかと。

R2.2 ヒアリング調査結果より

新潟西バイパス小新ICは、新潟バイパスや北陸道の結節点に位置しており、バイパス整備に合わせて周辺の土地区画整理事業が活発化。

新潟市で2番目となる卸団地を含む物流拠点や商業系用途の開発が進み、地域の拠点として発展。

新潟西バイパスは、新潟市の円滑な物流を支援するとともに、周辺地域の発展にも貢献。

